

## ■トンネル・カルバートの現状

- ★建築後50年を経過する高齢化トンネルト・カルバートが今後大幅に増加
- ★木佐美南方トンネル、愛吉トンネルの主な変状状況は以下のとおり。

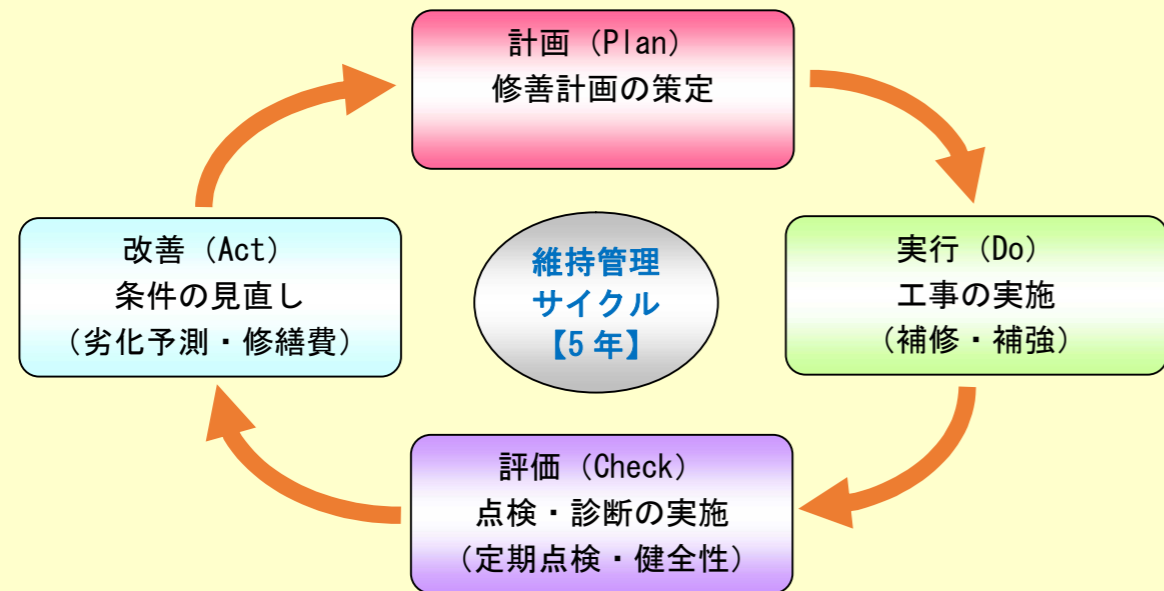


## ■計画策定の目的

- ★道路ネットワークの安全性・信頼性の確保（トンネル・カルバートの健全性向上）
- ★最新情報（定期点検・補修・補強）による修繕計画の更新（維持管理サイクルの継続）
- ★財政支出の抑制（ライフサイクルコストの最小化）

## ■維持管理サイクル

- ★維持管理サイクルの構築および継続的な実施



## ■点検・診断に関する方針

- ★国の基準に準拠  
「道路トンネル定期点検要領 H26.6」  
「シェッド、大型カルバート等定期点検要領 H26.6」
- ★日常点検および定期点検を実施  
定期点検は5年に1回実施
- ★健全性（Ⅰ～Ⅳ）にて評価

区分		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出典：トンネル定期点検要領 H26.6 国土交通省 道路局  
シェッド、大型カルバート等定期点検要領 H26.6 国土交通省 道路局

## ■長寿命化修繕計画の方針

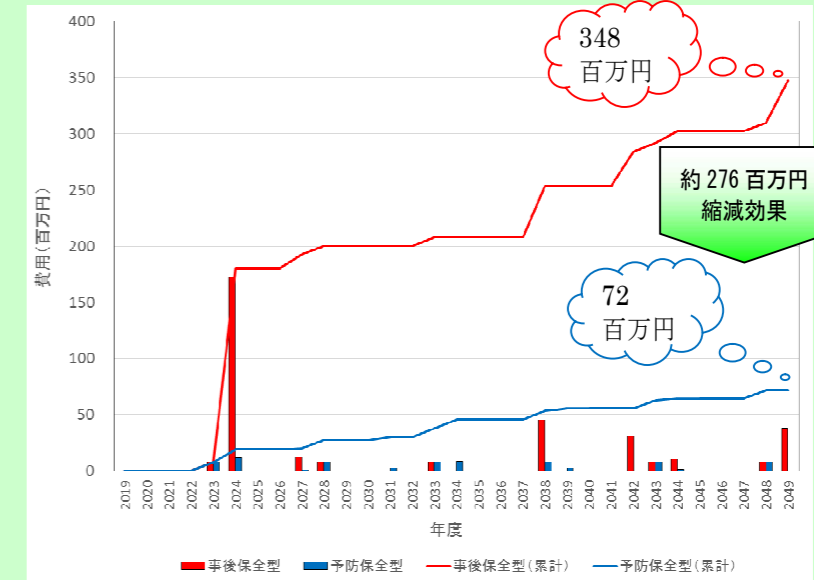
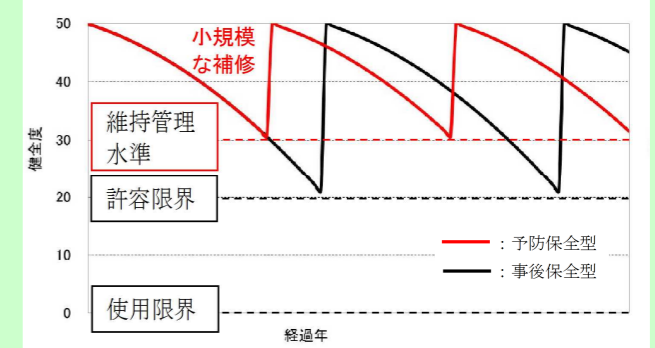
- ★維持管理予算の最適化（実現可能な計画）
- ★維持管理水準は健全性Ⅱ以上を確保

## ■補修・補強時期および次回定期点検時期

- ★補修・補強時期 →変状状況に応じて時期を設定
- ★健全性Ⅲのトンネル・カルバートは、早期（5年程度以内）に補修・補強

## ■長寿命化修繕計画による効果

- ★安全・安心な道路ネットワークの提供
- ★予防保全型の管理を継続することで、事後保全型の管理に対して、約276百万円のコスト縮減が可能  
（大田原市の1トンネル・3カルバートを対象）



## ■計画策定担当部署

栃木県大田原市 建設水道部 道路課 TEL：0287-23-8717